

主な内容

矢口高雄氏に地域文化功労者・市議会正副議長 ⑥ 行政情報便 ⑦～⑧
各分野での活躍 ⑨ 地域の話 ⑩ ⑪ 情報・いどばたプラザ ⑫ ⑬
えがおの交差点 ⑭ ⑮ 読者の声 ⑯ 巧 ⑰ イベントカレンダー ⑳

2009年12月1日号
(平成21年)

No.100

12-1



冬の寒さを吹き飛ばせ

秋田の冬には欠かせない“きりたんぼ鍋”。寒さが厳しくなるこの時期、冷えきった体を芯から温めてくれます。11月6日、郷土料理について学ぶ食育教室が大森小学校で行われ、児童らがきりたんぼ鍋作りに挑戦しました。

(関連記事11ページ)

私と私たちの『しあわせの約束』

私たちは、だれでも生まれたときからしあわせに生きる権利を持っています。『横手市子どもの権利宣言』制定から一年。家庭や地域の中で、どの子どもたちを見守っていくのか。児童虐待防止推進月間の11月を振り返りながら、もう一度考えてみましょう。



世界で結ばれたしあわせの約束

世界には貧しさや戦争、虐待などで苦しむ子どもがたくさんいます。1989年(平成元年)、このことに目を向けた世界中の国々は、協力して『子どもの権利条約』という決まりをつくりました。これは、子どもの人権に関する世界で最初の条約で、子どもの①生きる権利、②育つ権利、③守られる権利、④参加する権利について54の項目があり、193カ国がお互いに守り合うことを約束しています。

平成6年にこの約束をした日本。国内でも様々な動きが見られ、平成18年には秋田県でも子どもの権利を守る条例がつくられています。

横手市では昨年10月に『横手市子どもの権利宣言』を制定。市制施行3周年記念式典で、子どもの権利を尊重する、まちであることを誓いました。この宣言は、明日の横手を担う子どもたちの健やかな成長を地域全体で支えていこうという、大人の宣言と、子どもたち自身の力強い誓いを表す『子どもの権利宣言』を合わせたものになっています。(左)

横手市子どもの権利宣言

- (前文省略)
1. 横手市は、子どもの権利について市民の理解を深めるための広報活動を行い、子どもの育成にかかわる施策を総合的に実施します。
 2. 保護者は、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせ、家庭において子どもとのふれあいを大切にしよう努めます。
 3. 地域の住民は、子どもを地域全体で見守りながら、子どもが地域でのびのびと主体的に活動できるように努めます。
 4. 学校は、いじめの防止など人権に関する教育を推進し、子どもの権利の保障に努めます。
 5. 事業主は、保護者が安心して仕事と子育てが両立できるような職場環境づくりに努めます。

「YOKOTEっ子宣言」

- Y より良い街づくりに積極的な横手っ子
- O お互いを尊重し合える横手っ子
- K 環境を考え、郷土を大切にする横手っ子
- O 大空のような広い心の横手っ子
- T 尊い命を大切にしている横手っ子
- E 笑顔が素敵な横手っ子

私たちは以上のような横手っ子を目指します。

平成20年10月4日 横手市



STOP! いじめ STOP! 虐待

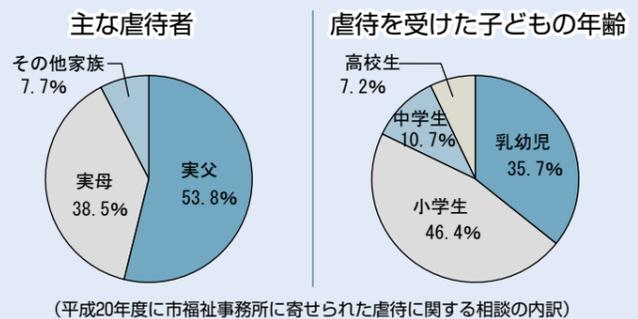
子どもの権利を考えると、大きな問題とされているのがいじめと虐待です。特に虐待は、家庭内で起こるケースが多いため、発見や対応が難しいとされています。

平成20年度、市福祉事務所に寄せられた虐待の相談件数は13件(児童数28人)でした。内容は、身体的虐待と心理的虐待で、虐待の対象は0歳児から小学生までが8割以上。主な虐待者の9割以上は実の父親と母親となっています。子どもへの虐待は、特別な人が引き起こす問題ではありません。育児などの問題に悩む家庭をどう救うのか。地域全体で子どもを見守るという意識が求められています。

国は平成16年度から、児童虐待防止法が施行された11月を『児童虐待防止推進月間』とし、虐待問題への関心や理解が広く得られるような取り組みを関係機関と協働で進めています。6年目を迎えた今年11月、虐待問題への関心を高めようと市内で行われた活動の一部を紹介します。

児童虐待の4つのパターン

身体的虐待	たたいたり、けったりするなど、子どもの体に暴力を加えること
性的虐待	子どもにわいせつな行為をすること、させること、見せることなど
保護の怠慢(ネグレクト)	発育や健康に大切な衣食住の世話をしない病気なのに医師にみせないなど
心理的虐待	感情にまかせてどなったり、おびえさせる差別や無視などで子どもの心を傷つけるなど





「『ハッピーバースデー』あらすじ
 原作 青木和雄 / 吉富多美(金の星社刊)
 脚本・演出 坂口聡(演劇集団フリーダム)

「ああ、あすかなんて、本当に生まなきゃよかったなあ」
 自分の思いどおりに成長した長男に比べて、
 できの悪い娘あすかに、容赦ない言葉を浴び
 せる母静代。あすかは母の一言で声を失って
 しまう。
 しかし、自然にかこまれた田舎でいぢや
 んの愛にふれ、あすかは心と声を取り戻す。
 そしてそこには、あすかを愛せない母の秘密
 が……。
 生きるよろこびを知った少女が、いじめに
 立ち向かい、家族をも変えていく感動の物語



横手南小・合唱部のみなさん



ママ、私を生んでくれてありがとう

もう一度ママって呼んでくれるの？

interview 瞳の輝きをいつまでも…

子どもたちは小さな体の中に、不安や夢を交差させながら生きています。もし、近くにいる子どもがSOSを出しているならば、大人たちのあたたかい手でギュッと抱きしめてやってください。私もこの活動を通して、子どもたちをずっと見守っていけるような大人であり続けたいと思っています。

横手に来て、公演に出演していただいた横手南小学校のみなさんをはじめ、ここに暮らす子どもたちのキラキラした目がすごく



印象的でした。豊かな大自然の中で、その輝きがいつまでも続くようなまちであってほしいと思います。

さかくち さとし
坂口 聡 氏
 演劇集団フリーダム代表
 福岡を拠点とし2003年に旗揚げ。家族愛をはじめさまざまなテーマを取り上げ、公演ごとに出演者を募りながら出逢いを求めて歩んでいる。

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときやご自身が出産や子育てに悩んだときは、気軽にご相談ください。

市福祉事務所子育て支援課
 ☎35・2133
 または
 児童相談所フリーダイヤル『子ども・家庭110番』
 ☎0120・42・4152

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときやご自身が出産や子育てに悩んだときは、気軽ににご相談ください。

市福祉事務所子育て支援課
 ☎35・2133
 または
 児童相談所フリーダイヤル『子ども・家庭110番』
 ☎0120・42・4152

体の健康がとて大切になってきます。子育てへの協力や、心よりどころが得られないお父さんやお母さんの不安を取り除き、安心して子育てを続けることができる環境を、地域として一緒に考えていかなければなりません。

10月28日、横手市社会福祉大会で行われた意見発表で、佐藤梓さん(雄物川中2年)が参加者に呼びかけた提言に次のような言葉があります。

「一番大切なのは、私たちひとりひとりが身近な人を自分のことのように考え、思いやる優しさだと思います。優しさであふれる笑顔、つながる輪、大きなことはできませんが、この言葉がたくさんの人の心に響いて、横手市や他の地域に優しさが広がっていくといいなと思います。」

これは、子育てを含めた地域福祉全般にかかわる大切なキーワードです。

私たちが結んだしあわせの約束。いつまでも、元氣な横手っ子とそれを見守る大人たちの笑顔が続くように、家庭と地域のつながりをしっかりと育てていきましょう。



つながる輪、優しさであふれる笑顔

演技とわかっていても、いじめや虐待のシーンはとても怖かったです。こんなことが絶対におきないようにと願いを込めて一生懸命演じました。

れいな
高橋玲奈さん (横手南小6年/右)
 主人公のクラスメートと、幼くして亡くなった母の姉「春野」の二役を熱演

◆ミュージカル『ハッピーバースデー』上演
 11月1日、『横手市子ども権利宣言』制定1周年を記念し、横手市民会館で、いじめと虐待の防止をテーマにしたミュージカルが行われました。これには、横手南小学校の児童21人と地元アマチュア劇団の2人も参加。500人を超える観衆に大きな感動を与え、相手を思いやる気持ちと自分としっかり向き合うことの大切さを伝えました。

◆オレンジリボン運動
 平成16年に栃木県小山市で起きた虐待事件をきっかけに、オレンジリボンをシンボルとして、児童虐待防止を目指す活動が始まりました。

この活動はまたたく間に全国へ拡大し、横手市でもその趣旨に賛同した国際ソロプチミスト横手(高橋早苗会長・会員26人)が『国際ソロプチミスト横手 オレンジリボン基金』を設立。11月5日、その活動の足がかりとして、児童

虐待防止の願いを込めたオレンジリボンのマグネットステッカーを市に贈呈しました。また、県も平鹿地域振興局前にイルミネーション看板を設置したほか、11月27日には横手サティとイオンスーパーセンター横手南店で街頭キャンペーンをするなど、市内各地で児童虐待防止の呼びかけを行いました。

核家族化などの影響で、地域とのつながりが弱くなってきたと言われています。家の中で子どもとだけ向き合い、思うようにはいかない、はがゆさを感じながら子育てを続ける――さまざまな要因が重なり、精神的に追い詰められているお父さんやお母さんも少なくないでしょう。

虐待の問題は、ただそのことだけを責めても解決はしません。子どもの健やかな成長には、それを見守る側の心と

まぢぐるみで育てる元氣な横手っ子
 核家族化などの影響で、地域とのつながりが弱くなってきたと言われています。家の中で子どもとだけ向き合い、思うようにはいかない、はがゆさを感じながら子育てを続ける――さまざまな要因が重なり、精神的に追い詰められているお父さんやお母さんも少なくないでしょう。

虐待の問題は、ただそのことだけを責めても解決はしません。子どもの健やかな成長には、それを見守る側の心と



県平鹿地域振興局前のイルミネーション

写真付き『住基カード』は公的な身分証明書として利用できます

写真付きの住基カードは、市役所や金融機関での本人確認の際に公的な身分証明書として利用できます。特に、運転免許証を返納される予定の方は、返納する前に住基カードを取得しておくことをお勧めします。また、電子証明書を取得するとe-TAX(税の電子申告)を利用することもできます。

■住基カードの申請方法

本人確認ができるもの(※)と印鑑をお持ちになり、各地域局の窓口で申請してください。写真付き住基カードをご希望の方で、写真をお持ちでない方は無料で撮影します。写真を持参される場合は、6か月以内に撮影した無帽、正面、無背景の写真(縦4.5cm×横3.5cm、カラー・白黒は問いません)をご用意ください。なお、デジタルカメラの写真データは受付できません。

住基カードの新規交付は、平成20年4月から無料となりました。(再交付の場合は、手数料500円がかかります)

■住基カードの交付方法

申請受付後、市から『カード交付通知書兼照会書(回答書)』を郵送します。後日、回答書と本人確認ができる

もの(※)を持って、申請した地域局の窓口で受け取ってください。

■住基カードの即日交付

大雄地域局で申請した方は、顔写真付きの本人確認ができるもの(※)と印鑑をお持ちであれば、住基カードが即日交付されます。

■電子証明書(公的個人認証サービス)

電子証明書の利用を希望する場合は、住基カード交付の際に申請してください。手数料500円をご負担いただきます。なお、e-TAXを利用するには、別途、カードリーダーライターとご自宅でのパソコン設定が必要です。

※本人確認ができるもの

運転免許証、身体障害者手帳、パスポート、各種免許証(顔写真付き)、官公署発行の顔写真付き身分証明書など。お持ちでない場合は、聞き取り等で本人確認しますが、即日交付はできません。

■問合せ

市福祉環境部国保市民課(大雄庁舎内) ☎35-2176、または各地域局市民福祉課(横手地域局は市民課)

高額医療・高額介護合算制度のお知らせ

高額医療・高額介護合算制度は、高額療養費の算定対象となる世帯に介護保険受給者がいる場合、その負担軽減を図るものです。申請により、医療保険と介護保険の自己負担額(支給される高額療養費・高額介護サービス費のみでは補えない金額)の年間合計額が、一定の限度額を超えた場合、その超過分の金額を支給します。

■対象

基準日の7月31日時点で加入している医療保険を申請先とし、世帯内で同じ医療保険に加入している方が対象となります。また、前年8月から7月までの12か月分(今年度は平成20年4月～平成21年7月の16か月分)の自己負担額が合算の対象です。

■年間の合算限度額 ※()は16か月分の限度額

所得区分	70歳以上	70歳未満
現役並・上位所得者	67万円(89万円)	126万円(168万円)
一般(市民税課税世帯)	56万円(75万円)	67万円(89万円)
低所得者Ⅱ(非課税世帯)	31万円(41万円)	34万円(45万円)
低所得者Ⅰ(非課税世帯)	19万円(25万円)	

■申請方法

平成20年4月から平成21年7月末までに当市の国民健康保険に加入し上記表に該当する方には、事前にお知らせしますので、各地域局市民課・市民福祉課で支給申請手続きをしてください。(領収書不要)

※平成20年4月から平成21年7月末までに当市に転入した方、他医療保険から国民健康保険へ加入した方は、市への申請のほかに以前加入していた医療保険への手続きが必要になる場合があります。

■問合せ 市福祉環境部国保市民課(大雄庁舎内) ☎35-2186

平成21年度免除申請受け付け中
国民年金保険料の免除・猶予申請はお済みですか

所得が少ないなどの理由により国民年金保険料を納めることが困難な方を対象に、本人の申請により納付を免除・猶予する制度があります。

●免除申請(全額免除、1/4・1/2・3/4納付)

本人・世帯主・配偶者の前年所得が一定額以下の場合、申請により保険料の全額または一部が免除されます。

●若年納付猶予申請

30歳未満の方で、本人・配偶者の前年所得が一定額以下の場合、申請により保険料の納付が猶予されます。

*学生納付特例制度や失業者特例制度などもあります。未納のままにせず、免除・猶予制度をご利用ください。

■申請方法

各地域局市民課・市民福祉課で随時受け付けています。年金手帳、印鑑を持参のうえ、手続きしてください。

■問合せ

市福祉環境部国保市民課(大雄庁舎内) ☎35-2186

平成22年1月1日『日本年金機構』がスタートします

平成22年から社会保険庁は組織・人員を一新し、名称を『日本年金機構』として生まれ変わります。サービス内容の変更や新たな手続き等はありません。

*社会保険事務所は、年金事務所、に名称が変わります。
*これまで社会保険庁や社会保険事務所名義で案内していた各書類等は、厚生労働省または日本年金機構の名義になります。

*日本年金機構は、社会保険庁から公的年金の運営業務を引き継いで行います。公的年金制度の財政や運営は、国が引き続き責任を持ちます。

議長に石山氏、副議長に塩田氏



石山 米男氏
【議長】



塩田 勉氏
【副議長】

改選後初めての横手市議会11月臨時会が開かれ、初日の11月10日に行われた正副議長選で、議長には石山米男氏、副議長には塩田勉氏が選出されました。

昭和15年12月29日生まれ。昭和6年から旧増田町長を4期務める。平成17年に市議会議員に当選し、産業建設常任副委員長などを歴任。

昭和26年4月2日生まれ。平成12年から旧雄物川町議会議員を2期務める。平成17年に市議会議員に当選し、産業建設常任委員長などを歴任。



矢口高雄氏
(東京都目黒区 70歳)

文部科学省の平成21年度地域文化功労者が10月30日に発表され、昨年10月に横手市の功労者として表彰された、増田町出身の漫画家・矢口高雄氏が選ばれました。

11月6日には東京都千代田区の如水会館で表彰式が行われ、受賞者を代表して矢口氏があいさつ。「張り裂けんばかりの胸の内は、漫画万歳です」と喜びを語りました。地域文化功労者は全国各地で芸術文化の振興や文化財保護に功績のあった個人と団体に贈られ、今年は全国で79人と17団体が受賞しました。矢口氏の代表作『釣りキチ三平』は、郷土の自然風景が数多く描写され、全農あきたの『秋田こまち』のパッケージなどに使用されました。

矢口高雄氏の功績に晴れの栄誉
平成21年度地域文化功労者

水道管の凍結にご注意ください

水道の凍結事故にご注意ください

例年、12月から2月にかけて、水道の凍結事故が多発します。水道が凍結すると、水が使えないだけでなく、修理に多額の費用がかかりますので、真冬日や外気温が氷点下になったときなど、水道を長期間使用しない場合は特にご注意ください。

水抜き栓の開閉は確実に行ってください

凍結防止には、水抜き栓による水道管の水抜きが効果的ですが、開け閉めが不完全だと地下部分から漏水することがありますのでご注意ください。この場合、水道料金の漏水減免の対象にはなりません。

万が一、凍結・破裂したときは…

水道の凍結・破裂により漏水した場合は、すぐに『横手市指定給水装置工事事業者』にご連絡ください。

<<< 冬期間の検針について >>>

- ◎横手地域・増田地域・大森地域
 冬期間も検針します。メーターボックス付近の除雪にご協力ください。積雪や雪囲いなどで検針できない場合は、推定料金でいったんいただき、後で精算します。
- ◎平鹿地域・山内地域・大雄地域
 12月から冬期推定に入ります。
- ◎雄物川地域・十文字地域
 1月から冬期推定に入ります。

※冬期推定の地域は、昨年度冬期間の使用水量を基に計算し、『冬期間水道料金のお知らせ』で推定料金等を通知します。推定料金等を変更したい場合は、各地域局地域維持課水道担当までご連絡ください。
 ※来年5月の検針により、推定料金の精算を行います。

12月10日(木)は「人権デー」
特設人権・困りごと相談所を開設します

12月4日から10日までは人権週間です。横手市人権擁護委員協議会と秋田地方法務局横手支局では、この人権週間行事の一環として、下記日程で無料人権相談所を開設します。家族・夫婦関係や近隣関係、虐待、いじめ等の困りごとのある方はご相談ください。相談は人権擁護委員が担当し、秘密は厳守します。

◆相談所の開設日・場所等

地域	期日	場所	人権擁護委員名
横手	12/5(土)	かまくら館	椎名 靖典 堀内 新一 松井 敏博 前澤 弘子
		横手サティ(1階下りエスカレーター降り口)	七尾喜美代 高見 祥一 高橋 恒徳 法務局職員
増田	12/1(火)	増田地区多目的研修センター	石川 冴子 織田智恵子 内藤新左衛門
平鹿	12/1(火)	平鹿生涯学習センター	戸部 英二 佐野 洋子 瀬田川美知子 神原 英夫
雄物川	12/1(火)	雄物川コミュニティセンター	佐々木栄一 上法 快晴 高橋 雅子
大森	12/3(木)	大森図書館	朝川 順子 棚橋 博子 嵐田友之助
十文字	12/2(水)	十文字文化センター	寺田 奎子 信太 耕三 佐々木弘子 近 り子
山内	12/1(火)	山内生涯学習センター	藤原 信子 高橋 藤悦
大雄	12/7(月)	大雄地域福祉センター	滝澤 将弘 戸田 吉広

◆問合せ 上下水道部水道業務課料金担当(横手庁舎内) ☎32-2758、または各地域局地域維持課

◆時間 午前10時～午後3時
◆問合せ 秋田地方法務局横手支局 ☎32-5153

横手の元気印

特別編

横手で頑張る「元気印」や、国内外を舞台に活躍する市出身者など、横手ゆかりの方たちが各分野で高い評価を得ました。

日本音楽コンクール【ピアノ部門】

伊藤さんが見事1位に輝く

10月24日に東京で開催された、第78回日本音楽コンクール本選会で、横手市出身の伊藤伸さんが、3度目の挑戦でピアノ部門1位に輝きました。



伊藤 伸さん(23歳)

音楽の道をこれからも続けていけるのかどうか…多くの葛藤や不安から抜け出し『自分の音楽とは何か』を再確認するためにコンクール出場を決意。周囲の反対を押し切り選曲した『ラヴェルのピアノ協奏曲』については「自分の音楽を見失わないためにも、心から大好きなこの曲を演奏したかった」と言います。今後もピアノ演奏を続け、ピアノを通じてより深く《音楽》を学び、音楽に携わり続けたいと語る伊藤さん。最終的な夢は「ピアノの弾けるおじいちゃんになること。なのだそうです。」

最後に「これまで多くの方々に支えられ、応援に勇気づけられたからこそ、今の自分があります。温かい故郷があることに感謝し、誇りに思いながら、一層努力を積み重ねていきます」と、故郷・横手への力強いメッセージをいただきました。

◆伊藤 伸(いとう・しん)=横手高校卒業後、桐朋学園大学音楽学部へ進学。現在、桐朋学園大学研究科在学中。



増田中学校前の国道沿いにある同婦人会の花壇



表彰式に参加した増田町婦人会会員

「現代の名工」に萩原さん

日本料理調理人としてこの道40年

各分野で優れた技術や技能をもつ今年度の「現代の名工」に、県内から唯一、日本料理の萩原博さん(横手・59歳)が選ばれました。



萩原 博さん(59歳)

萩原さんは六郷高校を卒業後、首都圏の料亭などで10年ほど修行を積み秋田へ戻り、県内のホテルで料理長を務めるなどして、40年間にわたって日本料理に専心。現在は横手セントラルホテルの調理部長として厨房を統括する存在です。

萩原さんが心掛けていることは「素材を活かした純粋な日本料理」と言い、料理の基本を忠実に守り材料本来の味を大切にするという初心を大事にしています。今回の受賞について萩原さんは「自分の年齢では縁のないものと思っていたが、今までやってきたことが評価されたことは素直に喜びたい」と話すとともに、「横手の食材や発酵食品などの豊かな食文化を広めるとともに、日本料理の継承と若い料理人の育成を通して、地域のために力を尽くしたい」と抱負を語っていました。

※次号の「巧」で、萩原さんを詳しく紹介する予定です。

全県花だんコンクール

増田町婦人会が県知事賞を受賞

11月6日、第45回全県花だんコンクールの表彰式が秋田市の遊学舎で開催され、全県から応募された195件の中から、増田町婦人会が県知事賞を受賞しました。同婦人会の花壇作りは、秋田国体の開催をきっかけに『選手をきれいな花で迎えたい』そんな思いから始まりました。花壇作りは会員全員が素人で、土作りや花のレイアウトなど初めは苦労したとのこと。花壇を見た方から「いい花壇ですね」との声を励みに、今では花壇の除草が終わると、周りの歩道や側溝にも手を掛けるようになりました。会長の鶴飼さんは「花壇作りを通じて、さらに会員の団結力が強くなりました。今後もこの活動を続けたい」と意気込みを聞かせてくれました。市内からは16団体が応募し、右の5団体が特別優秀賞を受賞しています。

特別優秀賞受賞団体(横手市内)	
秋田県知事賞	増田町婦人会
秋田県教育長賞	旭小学校
秋田魁新報社賞	寿交クラブ(十文字)
秋田県華道連盟会長賞	山内大松川自治会
あすの秋田を創る協会会長賞	山内小松川自治会

11月20日から救急車が新しくなりました

横手市消防署雄物川分署の救急車が、11月20日から新しくなりました。この救急車は以前のものに比べ防振性に優れ、車内の処置空間が広く、円滑に処置を行うことができます。市消防本部では、複雑多様化する救急需要に迅速に対応し、今後も市民の皆さんへのサービス充実に向けていきます。



◆問合せ 市消防本部警防課 ☎32-1246

市立横手病院 LDRと産科の個室が完成しました

市立横手病院では6月から産科病棟の改修を行っていましたが、11月16日よりLDRと産科の個室の運用を開始しました。LDR(※)はシャワー・トイレを完備し、陣痛・分娩・回復が同じ部屋で対応でき、個室では出産後もゆっくりと過ごすことができます。食事などのサービスも充実し、快適な入院生活を送ることができるようになりましたので、ぜひご利用ください。



※LDR=陣痛(Labor)分娩(Delivery)・回復(Recovery)の略語
陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室。妊婦さんが移動しなくても良いため、母体への負担やストレスが軽減できる。

◆問合せ 市立横手病院医事課 ☎32-5001

市長面会日のお知らせ

◆日 時 12月25日(金)午前9時~10時30分
※1人につき15分程度

◆申込期限 12月18日(金)
◆申込み・問合せ 市総務企画部市長公室秘書担当 ☎35-2111
内線1033・1034

~明るく楽しい子育てと子どもたちのすこやかな成長を応援します~

楽しく明るく! 子育て

すくすくねっと 情報局

子育て支援課 ☎35-2133

「はやし浩司氏」を講師に、子育て講演会開催!
『許して、忘れる』の子育て 4つの物語

県では、子育てに夢を持ち、子どもを生み、育てる喜びを実感し、子どもが健やかに成長できる地域社会づくりを目指して『子ども・子育て支援推進協議会』を設置。子育て支援に関する啓発事業などを展開しています。

今年度の啓発事業として、子育てアドバイザー・はやし浩司氏による子育て講演会を企画しました。はやし氏は、自身のホームページ等でも子育てアドバイスを紹介し、講演活動や相談支援活動を行っています。子育てについて、良いアドバイスが聞けるチャンスです!ぜひ、ご来場ください。

☆日 時/12月13日(日)午前10時~正午
☆場 所/平鹿生涯学習センター(浅舞公民館)
☆入場料/無料※託児有り
参加希望者は事前申し込みが必要です。
☆申込み/県平鹿地域振興局福祉環境部
企画福祉課 ☎32-3294

ねっと会員通信

市内の子育て支援サークルや団体によるネットワーク会員の方からのお便りコーナーです。

「お外大好き!」

我が家の2歳になる娘は外に行くのが大好きです。走りまわったり、お花つみや石拾いを楽しんだり…。この間は、お姉ちゃんたちとトンボを追いかけました。間近で見るトンボに、娘はおっかなびっくりの様子。しかし、お姉ちゃんたちが学校に行ってしまうと、近所に遊び相手はいません。少子化の影響でしょうか?入園前の子どもたちは、ひとり遊びをする時間が多いように感じます。

クレヨンクラブでは週1回、家庭でできる遊びや、公園に行ったり、電車に乗ってお出かけしたりしています。お友達づくりの場、お母さんたちの情報交換の場として、気軽に遊びに来てください!

◆毎週水曜日、午前10時~正午
◆山内生涯学習センター(山内公民館) ☎53-2187

クレヨンクラブ 高橋

郷土の味に挑戦!

子ども食育教室(大森)

11月6日、大森小学校5年生を対象に食育教室が開催されました。これは、秋田の郷土料理に親しんでもらおうと大森地域局市民福祉課が企画したもの。

児童たちは、講師を務めた地元の食生活改善推進員や保健師から、秋田には伝統的な料理が多いことなどの説明を受け、郷土料理の代表である「きりたんぼ鍋、作り



ていく表情は真剣そのもの。大きささまざまなきりたんぼとダマコが

初めて作ったという児童がほとんどで、「普段はお店で買ってきて食べる。自分で作るの

手作りのきりたんぼ鍋が完成(左)



講師の指導のもとで、グループに分かれきりたんぼ鍋を作りました

できあがり、他の材料と一緒に煮込みました。

「いつもより美味しくできた」とお手製のきりたんぼ鍋に大満足の様子でした。

横手の元気印



児童・生徒たちと一緒に「風の翼」を歌う塩田さん(11月7日の「横養祭」にて)

塩田さんのCDやライブ活動に関してはan'sプロジェクトまで☎080-5066-1689

地域密着の音楽活動で、横手に“元気”呼びこむ

今年度、創立30周年を迎えた県立横手養護学校。その節目を記念するイメージソング作りに力を貸したのが、市内で音楽活動をしているシンガーソングライターの塩田明子さんです。

この曲作りは、同校の児童・生徒が出し合ったフレーズを基に、塩田さんが詞の補作と作曲を手がけたもの。「集まった言葉には、子どもたちの気持ちがストレートに表現されていて、自然とメロディーが浮かんできました。私というフィルターを通して、みんなの思いがひとつの曲になったという感じ」と、明るく親しみやすい曲「風の翼」ができあがりました。

実は、今年のB・1グランプリですっかり耳なじみになった「横手やきソング」も、塩田さんが作曲を担当。一児の母であり、夫の朗さんと学習塾を経営するという素顔を持つ塩田さんのバイタリティーは、さまざまな形で地域に明るさと元気を与えています。



シンガーソングライター 塩田 明子さん (横手・50歳)

収穫を祝い、地域の名品が集う!

第12回金沢地区自まんこコンクール(横手)

11月6日、JA秋田ふるさと金沢総合支店で、自慢の農作物の出来栄を競うコンクールが開催され、珍品、大物、良品、ブランド品の4部門に合わせて210点が出品されました。このコンクールはJA秋田ふるさと女性部金沢支部(部員301人)が主催。支部長の久米アサ子さんは「安全で安心な作物がますます見直されるようになってきました。形や品質の良いものはもちろん、形が変わったものでも“土の中の芸術品”として楽しみにしているんです」とうれしそうに語ってくれました。



珍しい大きな万年苺を出品した山田ヤエ子さん 珍品コーナーにも数々の名品が並ぶ!

心に寄り添い、心を支える

横手市民生児童委員協議会全体研修会(横手)

11月6日、かまくら館で民生児童委員を対象とした研修会が行われ関係者など約300人が参加しました。これは、民生児童委員の相談技術向上などを目的して毎年行われているもので、今回は『秋田いのちの電話』の副理事長を務める雲然俊美氏が講演。心に寄り添い、心を支えるという援助活動の基本姿勢や技法を丁寧に伝えました。参加者は講演を熱心に聴き、心の声を聴く“傾聴”、心に寄り添う“共感”、心を支える“受容”の意味を再確認し、自らの使命を改めて実感していました。



心と心のつながりや地域のコミュニティの大切さを説く雲然氏

受け継がれる民俗芸能を披露

第7回民俗芸能フェスティバル(増田)

横手市増田民俗芸能フェスティバルが11月15日、増田ふれあいプラザで開催されました。長い間、地域の人々により伝承されてきた県内の民俗芸能を集め、伝統芸能の伝承と保存、伝統芸能に対する理解を高めることを目的に、増田地域センター運営協議会が主催し今年で7回目の開催。ステージでは、増田地域に伝わる八木番楽や福嶋サイサイ囃子をはじめ、仁井田番楽(十文字)、願人踊(八郎潟町)、関口ささら舞(湯沢市)など7団体が次々に伝統芸能を披露し会場を盛り上げました。



八郎潟町願人踊(上)と戸波祇園ばやし(下)、八木番楽(右)

健康づくりで明るい笑顔 (平鹿)



11月15日、ゆとり館を主会場に「福祉健康まつり」が開催されました。血圧や体脂肪率などを測定する健康チェックや浴場の無料開放が行われたほか、健康講演会では『水戸黄門』のうっかり八兵衛でおなじみの俳優・高橋元太郎さんが、笑いと涙、さらには自慢の歌も交えた楽しいステージで会場を沸かせました。

厳かな舞いで五穀豊穡を願う (大森)



11月7日から8日朝にかけて、国の重要無形文化財である霜月神楽が行われました。巫女が優美に、神職が勇壮に舞う姿が訪れた観客を魅了。保呂羽山波宇志別神社の神殿内は厳かな空気に包まれていました。五穀豊穡を願う霜月神楽は、日本最古の湯立て神楽として1200年以上の歴史があります。(写真:山之神舞)

岩手自衛隊6連覇、横手市陸協Aが5位!



11月7・8日、第49回奥羽横断駅伝競走大会が開催され、由利本荘市役所から北上市役所までの116.2キロ・12区間で18チームによる激走が繰り広げられました。一般の部では岩手自衛隊が6連覇。最後まで粘りの走りを見せた横手市陸協Aは5位に食い込みました。県対抗の部は山形県が昨年に続き優勝し、本県は5位。

デフリンピック12位、市長に結果報告



11月5日、9月に台湾で開催されたデフリンピック(聴覚障がい者の国際大会)にバスケットボール日本代表として出場した石川正友さんが、市長に結果報告のため来訪。「世界に対抗できるパワーと技術を磨き、子ども達に夢を与えられるよう、4年後のアテネ大会ではメダルをねらいたい」と抱負を語りました。

いどばたプラザ

idobata plaza

「いどばたプラザ」は、市民団体やNPOなど行政以外からのお知らせを掲載するコーナーです。掲載を希望する場合は、発行日の15日前までに内容がわかるものをお寄せください。ただし、1月1日号は12月10日、1月15日号は12月25日となりますので、あらかじめご了承ください。

『国際親善友人形を贈る会』を開催します
●日時/12月3日(木)午前10時30分～ ●場所/朝倉小学校体育館 ●入場料/無料 ●問合せ/横手かまくらボランティア協会 石川さん ☎32-1916

横手おやこ劇場『まいごのおまわりさん』人形劇
●日時/12月6日(日)午後2時～※上演時間60分 ●場所/かまくら館 ●会費/入会金200円、月会費800円(3歳以下無料) ●問合せ/横手おやこ劇場 ☎33-0812(火曜・金曜、午前10時30分～午後2時30分)

『大合併後のコミュニティー(地域社会)づくりをどうするか』
●日時/12月8日(火)午後6時30分～ ●場所/ナンの館(十文字町バイパス通り) ●参加費/500円(食事付) ●問合せ/十文字・車座の会 小川さん ☎42-3853

ディンプルアート(スタンド風 不思議塗り絵)教室
●日時/12月12日(土)・1月9日(土)、①午前9時30分～正午②午後1時～3時30分 ●場所/かまくら館 ●参加費/2,500円(材料代、飲み物・お菓子代) ●定員/午前午後各10名程度 ●問合せ/ディンプルアート秋田県南事務局 二戸さん ☎25-3560

映画『ツバル～大切なものに導かれて～』上映&講演会
●日時/12月12日(土)午後1時～3時30分 ●場所/大仙市大曲交流センター ●定員/先着50人 ●参加費/無料 ●申込期限/12月11日(金) ●問合せ/あきたエコマイスター県南協議会 照井さん ☎090-4314-3284

ね・ま～れ「フリーマーケット」
●日時/12月12日(土)午前10時～午後2時 ●場所/ね・ま～れ(十文字駅前通り) ●問合せ/ね・ま～れ ☎42-5320

歌の好きな人集まれ～思いっきり歌声喫茶～
●日時/12月10日(木)午後7時開演 ●場所/煉瓦屋(寿町) ●参加費/1,000円(軽食付) ●予定曲/星に願いをなど20曲以上を予定 ●問合せ/煉瓦屋 ☎33-2811

『アンサンブル・ド・ノエル』
室内楽とバレエとお話による『くるみ割り人形』等の公演です。
●日時/12月13日(日)午後2時開演 ●場所/横手市民会館 ●チケット/一般1,500円、中学生以下1,000円 ●問合せ/木下さん ☎33-6537

書道研究会「秋展」
書道作品、約100点を展示します。入場無料。
●期間/12月18日(金)～21日(月)、午前9時～午後5時30分※18日は午後1時から公開、21日は午後3時30分まで ●場所/かまくら館 ●問合せ/下田さん ☎42-1215

南部エリア料理教室『家でできるちゃんこ鍋』
●日時/12月20日(日)午前9時50分～ ●参加費/1,000円 ●定員/20人 ●持ち物/エプロン、筆記用具 ●申込期限/12月15日(火) ●申込み/南部エリア ☎26-3880

自然を愛する皆さんの集い『年末特別企画』
●日時/12月20日(日)午後1時開演 ●場所/煉瓦屋(寿町) ●内容/スタンダードジャズ等 ●参加費/3,500円(特選料理・ドリンク付) ●問合せ/煉瓦屋 ☎33-2811

ほろわDEクリスマス FOR FAMILY
クリスマスにぴったりの創作活動を行います。
●期間/12月20日(日) ●場所/保呂羽山少年自然の家 ●対象者/家族・大人を含むグループ ●定員/20組 ●申込み/保呂羽山少年自然の家 ☎26-6011

市内スキー場オープン情報

スキー場名	営業時間	営業期間
天下森スキー場 (☎45-9816)	12月19日(土)午前9時	3月上旬まで
雄物川スキー場 (☎22-5644)	12月20日(日)午前9時	3月中旬まで
大森スキー場 (☎26-4210)	12月19日(土)午後3時	2月末日まで
山内スキー場 (☎53-2240)	12月19日(土)午前9時	3月14日まで
横手公園スキー場(☎33-4101)	12月26日(土)午前9時	2月末日まで

※降雪状態により、営業期間が変更になる場合があります

・市県民税4期
・国民健康保険税6期
・介護保険料6期
・後期高齢者医療保険料6期
※年金天引きでないもの

◆納期限は1月4日です◆

納期限までの納付をお願いします。
市財務部納税課(横手庁舎)☎32-2518

情報

information

募 第12回「雪をうたう」 集 市民俳句大会投句募集

雪への想いを十七音にまとめ、横手ならではの冬に親しんでみませんか。

◆応募資格/市内在住の方、市出身の方、市内に通勤・通学している方(未発表句、一人一句)

◆応募方法/全戸配布、または各地域の生涯学習センター・公民館に備付けの投句用紙でご応募ください。

◆応募期限/1月15日(金)必着

◆投句先・問合せ/横手中央公民館 ☎32・3137

講 座 まめめめ栄養教室

バランスのとれた食生活が続けられるよう、栄養の知識や簡単な料理を学ぶ教室を開催します。

◆日時/12月18日(金)午前10時～午後2時

◆場所/横手保健センター

講 座 朝倉公民館主催講座 第4弾「あいあい☆広場」

絵本選びのポイントから子どもたちへの読み聞かせまで、楽しい時間を過ごしましょう。

◆日時/12月22日(火)午前10時～11時30分

◆場所/あさくら館

◆定員/乳幼児と保護者先着15組

◆参加費/無料

◆申込期間/12月7日(月)～11日(金)

◆申込み/あさくら館 ☎35・2138

募 地域づくり活動に取り組 集 んでいる方を表彰します

「元氣なふるさと秋田づくり」顕彰事業として、地域づくり活動に継続的に取り組み、その活動が今後も地域で広がることが見込まれる団体や個人を募集し表彰します。

◆応募方法/推薦調書の提出

◆応募期限/12月25日(金)

◆申込み/県平鹿地域振興局地域企画課 ☎32・0594

講 座 女性センター主催 「マナーアップ講座Ⅱ」

お正月用の本格フラワーアレンジメントを学びます。

◆日時/12月28日(月)午後6時30分～8時

◆場所/女性センター

◆定員/一般女性15人(先着順)

◆参加費/3,000円(材料代)

◆申込開始/12月3日(木)午前9時～

◆申込み/女性センター ☎33・3995、32・3137

講 座 各種セミナーのご案内

「就職面接会」一般求職者、平成22年3月大学等卒業予定者を対象とした面接会です。当日は履歴書を持参ください。

◆日時/12月7日(月)午後1時30分～4時

◆場所/横手セントラルホテル「パソコン基礎・ビジネスセミナー」講習

◆日時/12月14日(月)～21日(月)、午前9時～午後4時※ただし土日は休み

◆場所/しすてむ工房(外ノ目)「目指せ平成の坂本龍馬! ファシリテーション力向上講座」

◆日時/12月12日(土)午後1時～5時30分

◆場所/横手市民会館

◆申込み/横手市雇用創出協議会事務局(市商工労働課内) ☎45・3990

講 座 アカデミック漫談 「笑いは内臓のジョギング」

地域の方が元気で健康に過ごせるように公開講座を開催します。

◆日時/12月14日(月)午後2時～3時

◆場所/県立衛生看護学院

◆参加費/無料

◆申込期限/12月10日(木)

◆申込み/県立衛生看護学院研修 ☎23・5015

相 談 県民支援無料相談会

仕事や病気、人間関係など、どんな悩みでもお聴きします。電話による予約が必要です。

◆日時/12月26日(土)・平成22年1月23日(土)・2月20日(土)・3月13日(土)午後1時～5時

◆場所/秋田県南部男女共同参画センター

◆申込み/日本産業カウンセラー協会秋田県運営部 ☎080・1800・8447

笑顔がいっぱい



おともだち

おともだち



図書館ホームページ (利用案内・蔵書検索・予約など)
 http://www.city.yokote.lg.jp/kakuka/toshokan/library_introduction.jsp
 ■問合せ 雄物川(中央)図書館 ☎22-2300 または最寄りの図書館まで

●今月の一冊

13日間で「名文」を書けるようになる方法

高橋源一郎=著/朝日新聞出版

谷川俊太郎の詩やバラク・オバマの演説などを取り上げながら、言葉の力について考える講義形式で進む。「書くこと」に興味がなくとも面白い。それに油断していると、何度も読み返したくなる文章と出会って参ってしまうが、それもまたこの本の魅力だ。

書名から想像するような技術的なノウハウ本ではない。著者は「文章を書くために必要なものは全て自分の中に存在しているのだ」という。それを探す楽しさを教えてくれる。【雄物川図書館】



●新着図書を紹介

一般向け

()内は所蔵図書館名
 横=横手、増=増田、平=平鹿、雄=雄物川
 森=大森、十=十文字、大=大雄、山=山内

- 勝間・藤巻に聞け!「仕事学のすすめ」/勝間和代・藤巻幸夫〔横・平〕
- 坂本龍馬地図帳 夜明けを夢見た風雲児たちの道/小美濃清明〔十〕
- 韓国歴史散歩/中山義幸〔増〕
- 放浪ニートが、340億社長になった! /中村繁夫〔平・森〕
- 資本主義はニヒリズムか/佐伯啓思・三浦雅士〔雄〕
- 見えないがんを追う/工藤進英〔平・森〕
- きなこー夢をおいかける犬ー/百瀬しのぶ〔平〕
- ガミガミ女とスーダラ男/椰月美智子〔十〕

児童向け・絵本

- おじいちゃんのSLアルバム/佐竹保雄〔増〕
- 命をつなぐ250キロメートル/今関信子〔横〕
- ホットケーキできあがり!/エリック・カール〔横・雄・森・十〕
- 着物のえほん/高野紀子〔平〕

●中学生・高校生におすすめ!

- 大人の本は難しいけれど、子どもの本は物足りない、そんな『YA(ヤングアダルト)向け』の本。冬休みにいかがですか? 高校時代にしておく50のこと/中谷彰宏〔増〕
- 差別をしよう!/ホーキング青山〔雄・森〕

●おはなし会 (会場は各図書館)

- ・12月5日(土)午前10時30分/十文字
- ・12月20日(日)午前10時30分/横手・増田・雄物川・大森



えがおの交差点



表装表具サークル(横手)
 黒川表装表具同好会



黒川公民館主催の表装表具教室に参加したことがきっかけで、書画などを趣味に持つ仲間が集まり、平成5年に同好会が結成されました。

現在17人が所属し、毎週木曜日の午前9時から午後3時までオアシス館で制作活動を行い、市の芸術文化祭などに作品を出品しています。

「自作の書画をいかに表装によって引き立てられるかを、裂地とのバランスを考えながら取り組んでいます。仲間からのアドバイスを参考に頑張っています」と話す会員の皆さん。

世話役の佐藤さんは「年配の会員が多く、生涯学習として皆で教えあい、楽しく和やかに活動しています。4月から加入した会員も、最近では立派な作品を作れるようになってきました。興味のある方はぜひ見学に来てください」と話してくれました。

◆問合せ オアシス館(黒川公民館) ☎38-2111

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式でご紹介します。福田さんは、前回の福田貴寛さんからのご紹介です。



福田 隆恵さん
 ふくだ たかえ(21歳・大森)

優しい目とかわいい八重歯が印象的な隆恵さんは、今年4月から保育士として大曲北保育園に勤務しています。10歳の頃、小学校で、1/2成人式」という企画があり、そこで保育士になる夢を描いたという隆恵さん。その後も夢を持ち続け、高校生の時に参加した就業体験で「やっぱり保育士の道に進もう!」と決意を新たにがんばってきたそうです。「まだまだ未熟ですが、子どもや保護者のみなさんに信頼される保育士になりたいです」としっかりととした口調で話してくれました。

◆社会人になった感想は? もっとしっかりしなければと、日々自分に言い聞かせています。社会人になって父や母の大変さがわかりました。両親には本当に感謝しています。

◆好きな異性のタイプは? 思いやりがあって、自分なりの目標を持った人がいいですねえ(笑)



思えば 遠くへ来たもんだ

中川原 祐佳さん
 なかがわら ゆうか(38歳・横手)

元気に走り回る慶亮くんは、大好きなお母さん、祐佳さん。祐佳さんは、平成10年に実家の呉服店を継ぐため岐阜県で修行していた夫の一隆さんと出会い、平成17年に結婚。修行を終えた一隆さんとともに、横手市での生活を始めた。平成17年と云えば、翌年にかけて気象庁が『平成18年豪雪』と名付けた大雪の年。横手市に来て早々の大雪に驚きながら、家族みんなで除雪に汗を流したそうです。

取材を始める時、徐々に家族が大集合。ご主人について尋ねると、家族が注目する中、照れながらも「優しく、何事にも一生懸命なところ、何かれました」と笑顔で答えてくれました。食文化については「魚がおいしい」と意外な答え。「岐阜県には海がないので、売られている魚は切り身がほとんど。秋田県に来て、おいしい魚や新鮮な山の幸が手に入るのうれしい」と話してくれました。

最後まで笑いが絶えなかった中川原家。家族の絆と笑顔を大切にしている幸せいっぱいな様子が伝わってきました。

笑顔いっぱい



休館日

お出かけ前にご確認ください

横手図書館	12月1・2・9・16日
増田図書館	12月1・7~11・14日
平鹿図書館	12月1・8・15日
雄物川図書館	12月1・2・9・16日
大森図書館	12月1・8・15日
十文字図書館	12月1・2・9・16日
山内図書館	12月5・6・12・13日
大雄図書館	12月1・3・7・10・14・17日
雄物川資料館	12月7・14日
ゆっぶる	12月16日
えがいの丘	12月7・14日
三吉山荘	12月1・8・15日
大森健康温泉	12月7・14日
ゆとりおん大雄	12月3・17日
南部エリア	12月7・14日
子どもと老人のふれあいセンター	12月7・14日
健康の駅トレーニングセンター	
東部	12月2・9・16日
西部・南部	12月5・6・12・13日

献血日程

月日・地域	実施場所	実施時間	種類
12月1日(火) 横手	横手市役所 平鹿庁舎	10:00~12:00	成分
		13:00~16:00	
12月3日(木) 大森	横手市役所 大森庁舎	10:00~11:40	全血
	(株)スイテックコーポレーション秋田工場	12:00~12:45	
	J A 秋田ふるさと営農経済部(旧八沢木支所)	14:00~14:45	
12月9日(水) 横手	大森町高齢者等保健福祉センター	15:15~16:15	全血
	伊藤建設工業(株)	10:00~10:50	
	J A 秋田ふるさと横手総合支店	11:10~12:00	
12月13日(日) 横手	横手サティ (ふれあい献血キャンペーン)	10:00~12:00	全血
		13:00~16:00	
12月15日(火) 雄物川	J A おものがわ本所	10:10~11:20	全血
	電研産業(株)	12:30~13:20	
	雄物川保健センター	13:45~16:30	
12月17日(木) 横手	住友生命保険秋田支社県南分館	10:00~11:30	全血
	東日本高速道路(株)東北支社	15:00~16:00	

乳児健診・予防接種

乳児健診・予防接種はお住まいの地域で受けてください

【横手地域】 ■場所 横手保健センター
12か月児健康相談(平成20年11月生まれ)
 日時 12月7日(月) 受付9:30~10:30
3歳児健診(平成18年5月生まれ)
 日時 12月4日(金) 受付12:30~13:15
【増田地域】 ■場所 増田地区多目的研修センター
4か月児健診(平成21年8月生まれ)
 日時 12月9日(水) 受付12:50~13:00
7か月児健診(平成21年5月生まれ)
 日時 12月9日(水) 受付12:40~12:50
2歳児歯科健診(平成19年5月~6月生まれ)
 日時 12月4日(金) 受付12:40~12:50
【雄物川地域】 ■場所 雄物川保健センター
1歳6か月児健診(平成20年4月~5月生まれ)
 日時 12月11日(金) 受付13:00~13:15
【大森地域】 ■場所 大森町高齢者等保健福祉センター
 (12か月児健康相談は大雄地域福祉センター)
12か月児健康相談(平成20年10月~11月生まれ)
 日時 12月4日(金) 受付10:00~10:30
1歳6か月児健診(平成20年5月~6月生まれ)
 日時 12月16日(水) 受付12:00~12:15
【十文字地域】 ■場所 幸福会館
1歳6か月児健診(平成20年4月~5月生まれ)
 日時 12月17日(木) 受付12:50~13:20
3歳児健診(平成18年4月~5月生まれ)
 日時 12月16日(水) 受付12:50~13:20
【山内地域】 ■場所 横手保健センター
12か月児健康相談(平成20年11月生まれ)
 日時 12月7日(月) 受付9:30~10:30
3歳児健診(平成18年5月生まれ)
 日時 12月4日(金) 受付12:30~13:15
【大雄地域】 ■場所 大森町高齢者等保健福祉センター
 (12か月児健康相談は大雄地域福祉センター)
12か月児健康相談(平成20年10月~11月生まれ)
 日時 12月4日(金) 受付10:00~10:30
1歳6か月児健診(平成20年5月~6月生まれ)
 日時 12月16日(水) 受付12:00~12:15

休日当番医

【診療時間】9:00~12:00(午前中のみ)
 ◆12月6日(日)
 高橋医院(十文字) ☎42-0421
 ◆12月13日(日)
 八木橋医院(前郷) ☎32-0682
 ●平鹿総合病院
 日曜夜間小児救急外来 ☎32-5124
【受付時間】18:00~21:00
【診療時間】18:30~21:30
 ◆12月6日(日)
 岡田医師(岡田小児科医院)
 ◆12月13日(日)
 石橋医師(石橋小児科医院)
 ※都合により担当医師が変更になる場合があります。
 ご了承ください。

相談

【市内全地域対象】
無料税務相談 ■場所 横手市社会福祉協議会
 日時 12月10日(木) 9:30~12:00
 問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668
社会保険年金相談 ■場所 横手地域局1階相談窓口
 毎週月曜~木曜日 10:00~12:00 13:00~15:00
 問合せ 横手地域局1階相談窓口 ☎32-2111内線2182
【横手地域】
心配ごと相談 ■場所 横手市社会福祉協議会
 日時 12月17日(木) 9:30~12:00
 問合せ 横手市社会福祉協議会 ☎33-8668
行政相談 ■場所 横手地域局1階1番窓口(受付)
 日時 12月11日(金) 13:00~15:00
 問合せ 横手地域局地域振興課 ☎32-2701
育児相談 ■場所 子育て支援センターなかよし
 毎週月曜~金曜日 9:00~17:00
 問合せ 子育て支援センターなかよし ☎32-6933
【増田地域】
無料法律相談 ■場所 増田地区多目的研修センター
 日時 12月21日(月) 10:00~12:00(要予約)
 問合せ 増田福祉センター ☎45-4848
心配ごと相談 ■場所 増田地区多目的研修センター
 日時 12月10日(木) 9:30~12:00
【平鹿地域】
心配ごと相談 ■場所 ゆとり館
 日時 12月16日(水) 9:30~12:00
【雄物川地域】
心配ごと相談 ■場所 雄物川コミュニティセンター
 日時 12月9・16日(水) 9:30~12:00
【大森地域】
無料法律相談 ■場所 大森コミュニティセンター
 日時 12月18日(金) 10:00~12:00(要予約)
 問合せ 大森福祉センター ☎26-3274
心配ごと相談・行政相談 ■場所 大森コミュニティセンター
 日時 12月8日(火) 9:30~12:00
健康相談・栄養教室 ■場所 大森健康温泉
 日時 12月9日(水) 10:00~11:00
 問合せ 大森町高齢者等保健福祉センター ☎26-4030
【十文字地域】
心配ごと相談 ■場所 幸福会館
 日時 12月4日(金) 9:30~12:00
【山内地域】
心配ごと相談 ■場所 山内福祉センター(ゆうらく館)
 日時 12月15日(火) 9:30~12:00
【大雄地域】
心配ごと・行政相談 ■場所 大雄地域福祉センター
 日時 12月11日(金) 9:30~12:00

診療所

【増田地域】
増田町診療所(耳鼻咽喉科)
 診療日 12月2・9・16日(水)
 診療時間 14:00~15:30
【雄物川地域】
えがいの丘診療所
 診療日 12月2・9・16日(水)
 診療時間 14:30~15:30
大沢診療所
 診療日 12月14日(月)
 診療時間 13:30~14:30

巧

たくみ Vol. 49

昆布すき職人

熟練の技が削り出す 羽衣のように薄い『おぼろ昆布』

作業場に入ると、スイツ、スイツという小気味のいい音が耳をつく。その心地よいリズムを刻む主こそ、昆布すき職人である今回の巧だ。

佐藤こんぶ店の看板商品である『おぼろ昆布』は、厚さ0.07ミリ以下といわれ、削りだした昆布を本などの上に載せると、下の模様や文字がはっきりと読み取れるほど。この道50年を越えた巧は、下処理を施した昆布から、まずは表面の堅い黒皮をそぐと、スイツ、スイツという音とともに徐々に昆布を薄く削っていく。

昆布をすく作業は、その厚さはもちろん、堅さや乾き具合、さらには周囲の湿度で力加減が微妙に変わる。機械では絶対に真似できない職人技を「腕力は衰えてきたが、昆布を削るのは力じゃないから」と言い、巧は笑った。

この店でおぼろ昆布の原材料にしているのは北海道産の『がごめ昆布』。秋田県人に好まれる粘りの出るのが特徴だが、ほかの昆布に比べて硬いため、昆布をすく刃物も重要だ。微妙に刃先が内側に曲がった特殊な形の包丁は、全国的に『秋田』と呼ばれ、専用の台で昆布の端を固定して削るすき方も、この地方ならではのもの。「包丁の研ぎ方もおぼろ昆布をすくための大事な技術」と、道具の手入れにも余念がない。

海から離れたこの土地で、魚介や海産物を貴重な栄養源として活用できるよう受け継がれてきた調理法や保存の技術。食文化とともに伝えられるべき熟練の技がそこにはあった。



千葉 榮助さん(74歳・増田)

ちば えいすけ
昭和10年、旧増田町生まれ。地元中学校を卒業後、生家の農業を手伝うかたわら、20歳から佐藤こんぶ店に勤めたが、夏場は昆布加工の仕事が閑散期になるため、他の様々な仕事も経験。昭和40年代、40歳の頃から昆布の加工が通年で行われるようになり、以来、職人として昆布すきに従事している。



包丁の研ぎ方で、作業の能率も 昆布の舌触りも変わってくる

今年、最初の雪の華を... 11月3日、横手に初雪が舞った。この市報が皆さんの手元に届く頃、外は白銀の世界でしょう。さて、冬といえば鍋! きりたんぼ好きの私は、大森小に潜入。楽しそうにご飯を棒に、ニッチがこぼれる。ふと、大学時代の鍋パーティーの一幕を思い出した。あの時、手作りで振舞っていたらもっと鼻が高かったろうな。鍋の美味さは、大勢で囲んで3割増。手作り... さらには美味さアップ☆:人肌より鍋が恋しい季節です。(美佳)

締め切りは 12月25日(必着)

市報よこて 読者プレゼント
今月のプレゼント
年越しに味わいたい 手打ち三平そば
横手産そば粉100%を使用した「手打ちそば(1箱3食入り・タレ付き)」を5名様にプレゼントします。手打ちならではの麺のコシと挽きたての新そばの香りを、ぜひ年越しそばとしてご堪能ください。

※冬期間(12月~3月)は土、日、祝日のみの営業。平日の連絡先は株式会社森振興公社(☎45-9816)となります。



ふれあい 語り合い

読者同士の交流や情報交換に、いろいろな声をお寄せください。

道の駅十文字の直売所オープンから3年目。年間売上げ2億円突破!!おめでとうございませう。友達も朝採りの新鮮な物を出しています。地元なのでよく利用しています。これからは頑張ってください。(横手の元気印さん・58歳・十文字)

10月11日に東京国際フォーラムで行われた青空市に行ってきました。十文字地域の皆さんが先頭に立って、特産のぶどう、りんご、きのこなどをPR、販売していました。私は十文字の方に会える楽しみと特産品を買い求めるために出かけました。県南地方は味にこだわりが強いところ。あきたこまちはもとより、さくらんぼ、すいか、ぶどう、りんごなど、どこにも負けないと思っっています。やきそばに続き、「横手の食材」のブランド化が一層高まることを期待しています。(滝沢三千男さん・61歳・神奈川県)

中学校の家庭科の授業で、いわしの手開きをしてかば焼きをした...と先生からお話しがあり、調理実習に助手として参加。魚離れが進む子どもたちにも、少しでも食べる機会を増やせればという思いもあり、短い時間だったが子どもたちと一緒に調理できたことは、大変うれしかった。なかにはとても上手に仕上げた子どももおり、聞くと釣りに出かけて魚は家に持ち帰って調理したり、手伝いをしているとのこと。手の動きの良さに感心した。これを機会に、子どもたちが魚を食べる習慣がもっと多くなればと思っっている。(夢追螢さん・58歳・横手)

11月1日、増田地域文化祭に行ってきました。素人とは思えぬ数々の芸、心から感動しました。芸は身を助ける、と申します。よし、自分も何かチャレンジしてみるかな。60歳の手習い!!何事も三日坊主の自分にはムリかな。(トクケンさん・59歳・増田)

今年も冬仕度が始まりました。各家の軒先に干し柿の赤いカーテンができました。買えば何でも手に入る時代ですが、この味を孫にも伝えていきたいと思っっています。(S・Kさん・70歳・十文字)

復活を切に願っています。(N・Kさん・70歳・平鹿)

市内でも新型インフルエンザが流行しています。市でも県や医師会と連携して適切な対応に努めています。市報ではタイムリーに情報をお伝えすることが難しいのが実情です。報道や市からの『インフルエンザ情報』に注意し、冷静な行動をお願いします。

イ

Event Calendar

イベントカレンダー

12月1日～12月17日

12/1 (火)	ほろわの里資料館冬期閉館のお知らせ 「ほろわの里資料館」は12月1日から冬期閉館します。来年度は5月からの開館を予定しています。 ◆問合せ/市教育委員会文化財保護課 ☎24-3480
2 (水)	
3 (木)	
4 (金)	
5 (土)	第4回市民ステージ祭(～6日、秋田ふるさと村) 子育て応援市民講座(14:00～、かまくら館) 図書館教養講座(14:00～、雄物川図書館)
6 (日)	青少年育成フォーラム『命の大切さを考える』
7 (月)	日 時/12月7日(月) 10:00～ 場 所/大雄ふれあいホール 問合せ/大雄生涯学習センター ☎52-3907
8 (火)	～県立近代美術館～ 「奈良裕功」素描展 
9 (水)	ありふれた自然の中に、かけがえのない美を求め続けた鹿角市出身の日本画家「奈良裕功」の素描(デッサン)展です。
10 (木)	期 間/12月5日(土)～2月15日(月) 時 間/9:30～17:00※入場は16:30まで 休館日/12月29日～31日、1月12日～21日 入場料/無料
11 (金)	○学芸員によるギャラリートーク
12 (土)	日 時/12月5日(土)・1月10日(日)、14:00～ 場 所/県立近代美術館5階展示室 入場料/無料
13 (日)	問合せ/県立近代美術館 ☎33-8855
14 (月)	チェロと語りのコンサート(13:40～大雄中学校)
15 (火)	戦前の「ひな人形」を探しています!
16 (水)	最近では飾る機会の少なくなったひな人形。今年で22回目を迎える雄物川資料館の「ひな人形展」では、戦前のひな人形の展示を企画しています。ご家庭で眠っているひな人形がありましたら、ぜひご連絡ください。ご自慢のひな人形をもう一度輝かせてみませんか。 ◆問合せ/雄物川郷土資料館 ☎22-2793
17 (木)	

親子でどうぞ ～南部エリア無料映写会

- ◆上映時間/午後1時～
6日(日)「クレヨンしんちゃん ちょー嵐を呼ぶ 金矛の勇者」【100分】
13日(日)「101匹ワンちゃん スペシャル・エディション」【80分】
- ◆問合せ/南部エリア(大森町菅生田) ☎26-3880

けやき並木のイルミネーション

■12月12日(土)～1月11日(月)



大森地域の冬の風物詩となった『けやき並木のイルミネーション』が今年もいよいよ始まります。

環境に配慮して、電飾には消費電力が少ない発光ダイオード(LED)を使用。

昨年からは大森リゾート村の芝桜をイメージしたピンク色のイルミネーションが仲間入りし、幻想的な空間がみなさんを包み込みます。

大森庁舎前のけやきに咲くやわらかな15,000個の光の花を、ぜひお楽しみください。

◆点灯期間/平成21年12月12日(土)～平成22年1月11日(月)

◆点灯時間/17:00～23:00、12月24日と31日は24:00まで

◆場 所/市役所大森庁舎前

◆問 合 せ/大森地域局産業振興課 ☎26-2117



第22回 槻の木 光のファンタジー

■12月19日(土)～1月10日(日)



『槻の木光のファンタジー』は昭和62年にスタート。県指定天然記念物で、平鹿地域のシンボルでもある槻の木(樹齢500年以上)が高さ40メートルの巨大なクリスマスツリーに生まれ変わります。地域のボランティアによって装飾された約5,000個の電球が槻の木を包み込むように設置され、12本の光のシャワーとなって頭上に降り注ぎます。

12月15日(火)午後4時30分から平鹿中学校にて電球の取り付け作業のボランティアが行われます。詳しくは実行委員会まで。

◆点 灯 式/12月19日(土)16:00～19:00、市役所平鹿庁舎前
(焼きそばやうどんなどの屋台、平鹿中吹奏楽部によるハンドベル、平鹿地域の5保育所(園)年長組による歌、点灯(18:00))

※終了後、槻の木の下に請願成就を祈願奉納する絵馬を設置します。(正月までの期間限定)

◆点灯期間/平成21年12月19日(土)～平成22年1月10日(日)

◆点灯時間/17:00～22:00、12月24日と31日は翌2:00まで

◆場 所/浅舞感恩講保育園前

◆問 合 せ/槻の木光のファンタジー実行委員会
(平鹿地域産業振興課内) ☎24-1118

市報よこて

2009年(平成21年)
12月1日号
(No.100)

発行/横手市役所 ☎0182-35-2111(代)

編集・デザイン/総務企画部 市長公室

〒013-8601 横手市条里一丁目1番64号

TEL:0182-35-2162 FAX:0182-33-6061

ホームページアドレス/ <http://www.city.yokote.lg.jp/>